This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

Published Japanese Utility Model Application,

JP, 60-128838, U(1985)

Publication number:

1985(S60)-128838

Date of Publication of application:

August 29, 1985

Int. CI

B 60 R 1/08

G 02 B 5/08

Application number:

S59-16520

Applicant: MASAKI SUGIMOTO

Date of filing:

February 7, 1984

Inventor:

MASAKI SUGIMOTO

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] An automobile door mirror comprising: a housing that has an opening window facing frontward is fixed to a mounting portion formed on the side door, and; a rear monitoring mirror and a front monitoring mirror attached to said housing wherein an opening window is formed in the rear surface of said housing in correspondence to said front monitoring mirror.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] It is a perspective drawing that shows an embodiment of present utility model application.

[Drawing 2] It is a drawing that shows an upper view of the embodiment..

[Drawing 3] It is a drawing that shows an upper view of the embodiment which is in use.

[Brief Explanation of the Drawings]

- 1: Housing
- 2: Side Door
- 3: Window
- 4: Base
- 5: Rear Monitoring Mirror
- 6: Direction-Changeable Support
- 7: Front Monitoring Mirror
- 8: Direction-Changeable Support
- 9: Opening Window

128838 公開寒用 昭和60一

⑲ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出類公開

⊕ 公開実用新案公報(U) 昭60-128838

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和60年(1985)8月29日

B 60 R G 02 B 1/08 5/08 7443-3D 7036-2H

審査請求 有

(全 頁)

❷考案の名称

自動車用ドアミラー

到実 顧 昭59-16520

昭59(1984)2月7日 の田

者 杉 本 ⑫考 案

静岡市中野新田729

①出 顧 人 杉本 雅 樹 静岡市中野新田729

②代 理 人 弁理士 松本 久

- 1. 考案の名称 自動車用ドアミラー
- 2. 実用新案登録請求の範囲

サイド・ドアに取付ける取付部材に、前側を開口させたハウジングを固定し、該ハウジング内に事体の後方確認用ミラーと事体の前方確認用ミラーとを配設し、この前方確認用ミラーに対応させてハウジングの後側壁に窓部を形成してなる自動事用ドアミラー。

3.考案の詳細な説明

本考案は車体の後方及び前方を透視し得る自動車用ドアミラーに関するものである。

現今、ボンネットの前端を極端に下向きに傾斜させた右ハンドルの自動車にあって場合、運形の左端に沿って停車させようとする場合、運形のより左側フェンダーの前側部を透視したので、フェンダー上に突設したのができるいので、フェンダーとに両をがよっては、バックミラーの外側部を規準にして車両をが下たいる。しかしバックミラーの外側のにあっては、バックミラーがあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあっては、バックにあった。

(1)

公開実用 昭和60- 128838

ーが運転者のほゞ側方位置に在るため、これを 目印しにして道路端に寄せることは極めて危険 であり、困難であった。

本考案はこのような点に鑑み、車体の左側的の左続はこのような視しながら車体の左寄せの方えてがられている。を追ります。これである。である。である。を形成してなるものである。

次に本考案に係る自動車用ドアミラーの一実施例を図面に基いて説明すると、1は前側を開口させたハウジングであり、該ハウジング1はサイド・ドア2に於けるウインド3の三角コーナー部に取付ける三角状のベース/人に固定であり、1はハウジング1内の内側寄りに変向であり、7はハウジング1内の内側寄りに変向





機構8を介して装着した車体 a の前方確認用ミラーである。9は前方確認用ミラー7に対応いてがついた。2000年10の一部を切欠いびがいた。2000年10の一部を切り、100年11は後期の11は後方確認用ミラー5の視界、14は前方確認用ミラー7の視界、15は道路の左側端である。

本考案に係る自動車用ドアミラーの一実施例は上記のような構成であるから、第3回に下・ド・ドンドルの自動車に於て、たサイド・ドア2のウインド3のコーナー部にベース4を持定するときは、運転者はハウジング1内の後方確認用ミラー5により車体8の前側部を透視し得るのである。

尚上記 安施例は右ハンドルの自動車用ドアミラーの場合であるが、左ハンドルの自動車用の 場合は右サイドのドアミラーに同様の構造を施

公開実用 昭和60- 128838

せばよい。また前方確認用ミラー7はハウジング1内の外側寄りに設けたり、ハウジング1を上方に拡大してこの拡大部分に同ミラー7を装 沿してもよい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る自動車用ドアミラーの

一 実施 例を示す斜視図、第2図は同上平面図、

第3図は同上実施例の使用状態を示す平面図。

1:ハウジング 2:サイド・ドア

3: ウインド 4:ベース

5:後方確認用ミラー 6:変向機構

a:車体 7:前方確認用ミラー

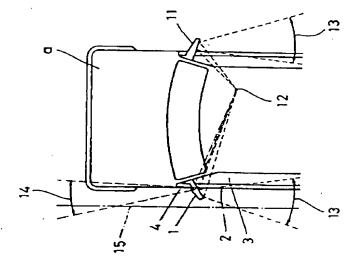
8:変向機構 9:激 部

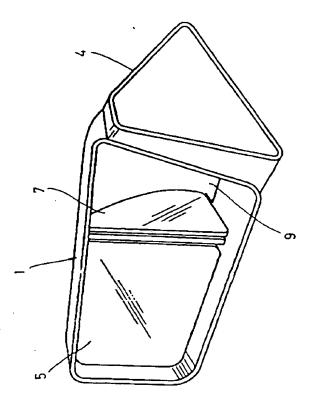
10:後側壁。

出願代理人 松 本 久

第 3 图

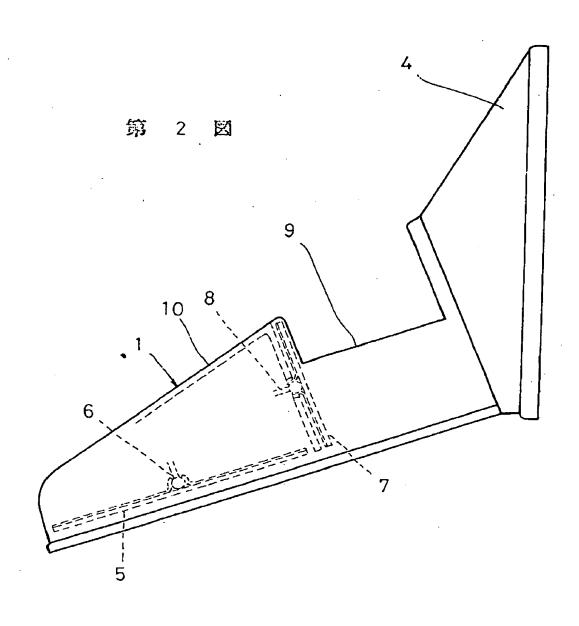
- 23





田图内植人 数 条 女

公開実用 昭和60— 128838



出頭代型人 松 本 《

396